水俣病は　なぜ
終わらないか？

～水俣・胎児との約束～

2025年11月25日

熊本くわみず病院医師　板井八重子
全日本民医連退職者の会
経験交流集会

第一の視点

胎児との約束

「水俣病の知識伝えたい」

条約締約国会議 水俣高生２人が抱負



水銀に関する水俣条約締約国会議に参加する水俣高の本山典美さん（左）と岩阪望央さん＝27日、水俣市

水俣高2年の岩阪望央さんと1年の本山典美さんが11月3～7日にスイス・ジュネーブで開かれる水銀に関する水俣条約の第6回締約国会議に参加し、水俣病や水銀に関する学習成果を発表する。27日に同校で会見した2人は「水俣病の正しい知識を伝え、水銀に関する深い知識も得たい」と抱負を述べた。

同会議は水銀による環境汚染や健康被害を防ぐため各国が水銀の使用や輸出入の規制を議論する。水俣高生の参加は2017年の第1回会議以来8年ぶり。2人は現地で各国の若者と意見交換し、国連欧州本部なども訪問する。

水俣高は16年度から水俣病の歴史や水銀の学習に力を入れている。今回は環境省から参加の打診があり、希望者から英語のプレゼンや面接で2人を選んだ。

岩阪さんは全校生徒に実施した水俣条約や水銀フリー社会の認知度調査で9割が「知らない」と答えた結果を報告する。「水俣病が起きた地域でも水銀の知識が不十分な現状を伝えたい」と話した。本山さんは原因企業チッソの事業子会社JNC水俣製造所や創業者が建設した曽木発電所の遺構（鹿児島県伊佐市）を見学した内容を発表する。（久保田尚之）

今、世界中の若者世代は
胎児のメチル水銀被害から
守られている

それは

2001年
国際水銀会議INミナマタ

「水銀に対する感受性の高い胎児・小児」の水銀摂取の
規制強化が必要

それまで環境省は規制強化に消極的


6th International Conference on Mercury as a Global Pollu
October 15~19, 2001 Minamata, Japan
第６回地球環境汚染物質としての水銀に関する国際会
Definition of
Abnormal Pregnancy Ratio
The Ratio = The Number of Abnormal Pregnancy / The Number of All Pregnancies
•Abnormal pregnancy : stillbirth, and spontaneous abortion
•Artificial abortion was excluded.

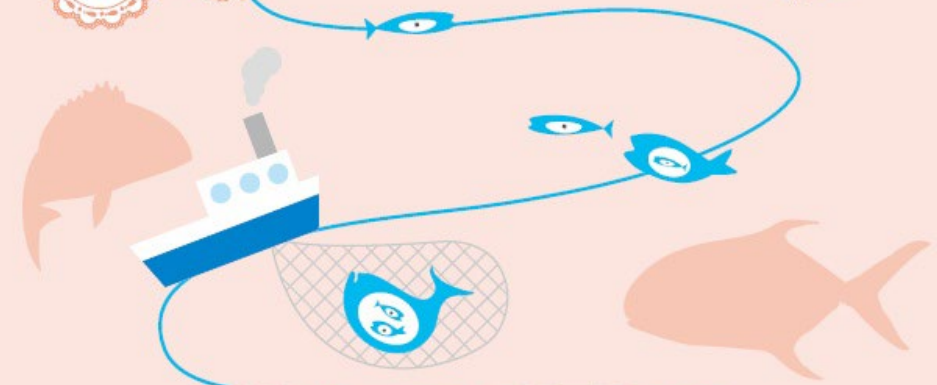
2003年　厚労省

妊娠可能な女性への勧告

厚生労働省

これから ママになるあなたへ

Baby



お魚について知っておいてほしいこと



お魚はからだに良いもの
でも妊娠中はちょっと注意が必要

注意が必要なお魚について

1週間に●（黒丸印：水銀量）1個までが目安です！

健康的な食生活のためにお魚をバランス良く食べましょう！

刺身1人前、切身1切れに（それぞれ約80g）含まれる水銀量（●）	◐ 半個	● 1個	●● 2個	●●●● 8個
注意が必要なお魚の名前	キダイ　マカジキ　ユメカサゴ ミナミマグロ（インドマグロ） ヨシキリザメ　イシイルカ クロムツ（平成22年追加）	キンメダイ　ツチクジラ　メカジキ クロマグロ（本マグロ） メバチ（メバチマグロ） エッチュウバイガイ　マッコウクジラ	コビレゴンドウ	バンドウイルカ

詳しくはWEBで
厚生労働省　水銀　検索

2005年以降

日本では
母子手帳に
メチル水銀摂取制限勧告

有機水銀濃厚汚染地域における異常妊娠の推移についての疫学的研究

異常妊娠率
二地域と非汚染地域の比較

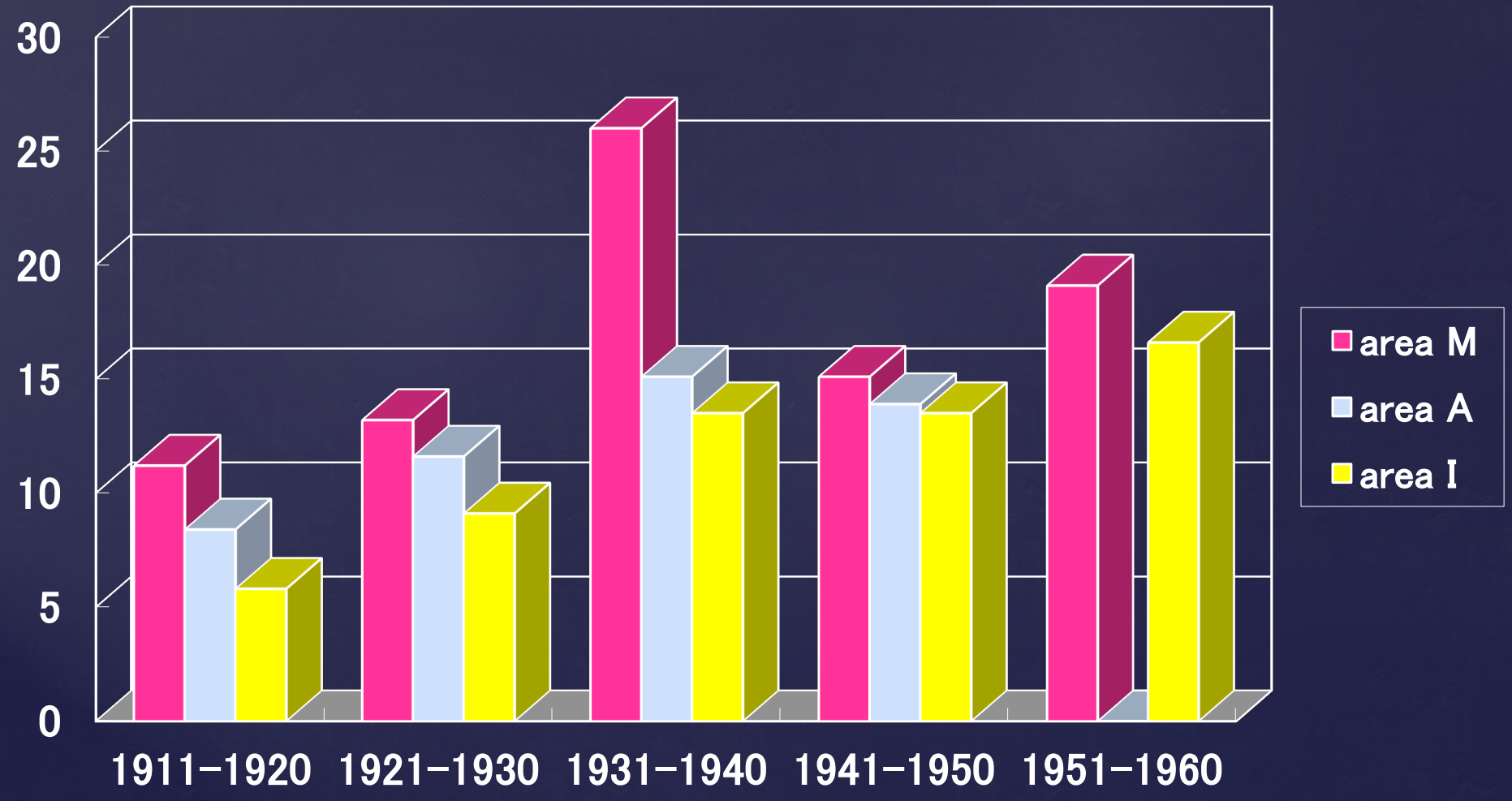


Fig. 2 Association between the Outbreak of Fetal MD and the Incidence of Abnormal Pregnancy

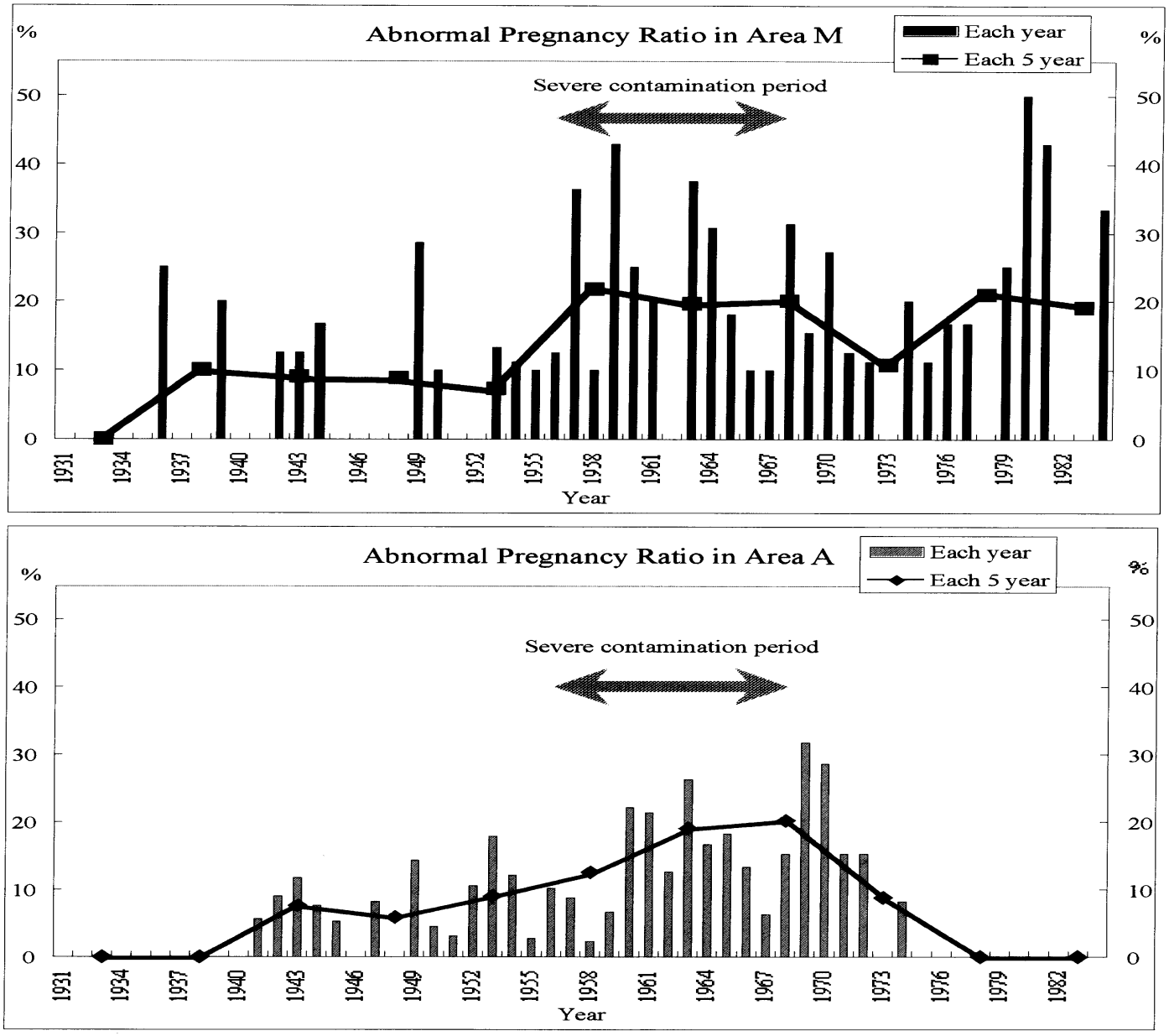
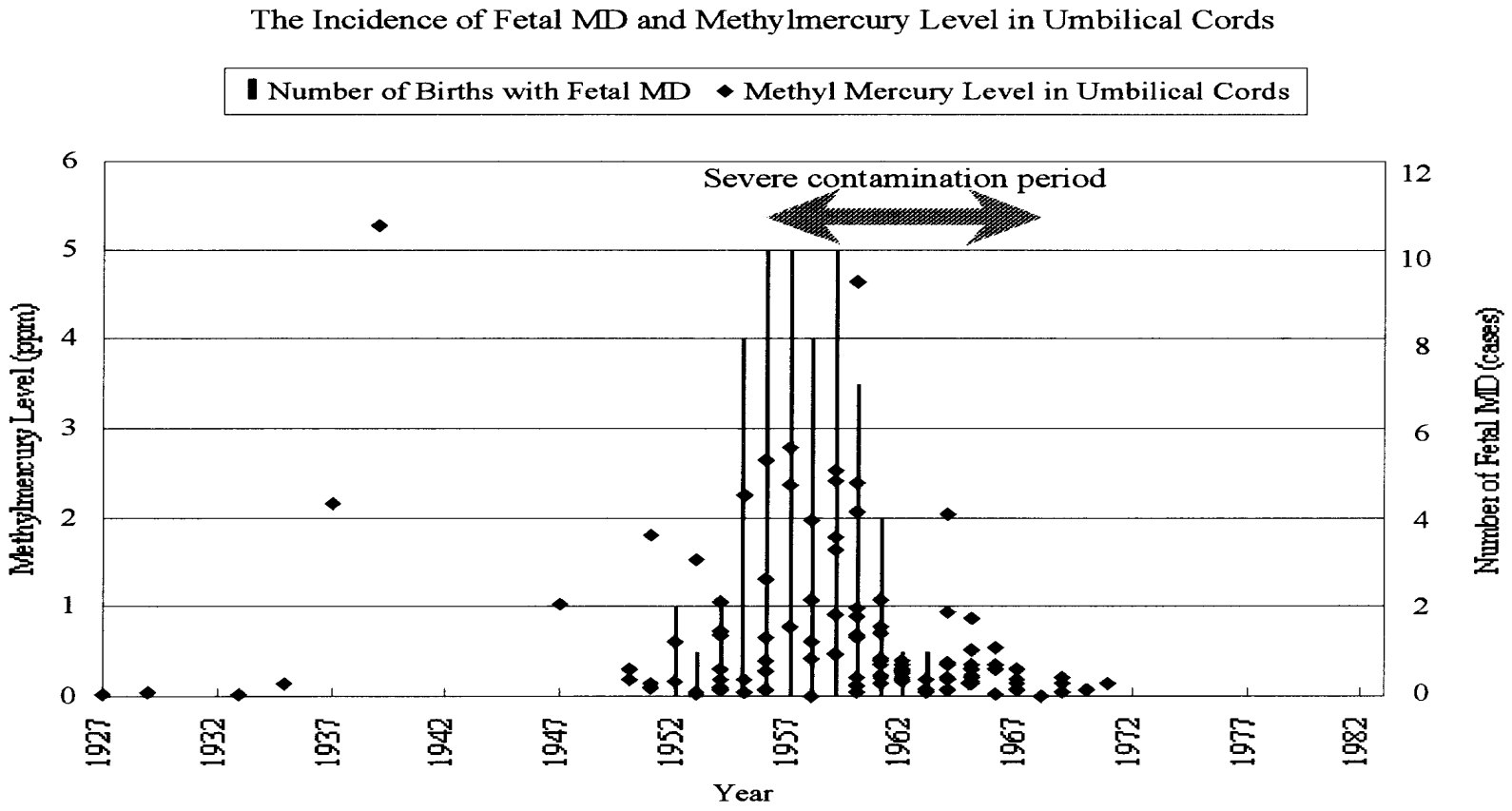


Fig. 2 Association between the Outbreak of Fetal MD and the Incidence of Abnormal Pregnancy. Cont.



メチル水銀の胎児への影響

	動物	ヒト
胎児期障害	発育障害･全身浮腫･脳病変	胎児性水俣病
胎芽期障害	奇形	奇形は少ない
胎生期死亡	あり	報告あり

メチル水銀の胎児への影響

母親のメチル水銀が胎盤を通じて
胎児に移行する
その時期によって影響が異なる

胎芽期：奇形・死産・
　　胎生期死亡（流産）
胎児期：発育障害・脳病変

遺伝　×

親の代の遺伝子の異常が
精子と卵子を通じて伝わる

感染　×

細菌・ウィルス

事実と異なる・うつるというニュアンス
が差別の雰囲気をもたらす人権感覚

しかしその結果は、
水俣の胎児らの犠牲と
環境省に抗って
それを明らかにした人々の努力
によることは知られていない。

犠牲になった子らの母親の記憶
協立病院スタッフの調査活動
患者団体の協力
協立病院への信頼
（全日本からの医師支援）
国内の研究者の支援
世界的な研究者の熱意・EPA

米国環境保護局（EPA)

Ｋ・Ｒ・マハフィー女史のことば

「強い反対があったけど

胎児を悲惨な水銀の被害から守る基準を決めることができてよかった・・・」

残念ながら

犠牲になった胎児や母親の
被害を救済する仕組みはない

母親や家族の苦悩や願いを
十分に伝えきれていない無念

あなたたちのことは忘れない

あなたたちの犠牲を

無駄にしない

水俣病
胎児との約束

医師・板井八重子が受け取った
いのちのメッセージ

2006年11月　　矢吹紀人著
大月書店より出版
2025年10月改訂版

海山空の子守歌

~生まれえなかった命たちへ~

水俣の母親の願いを
日本中の　世界中の　母親に届けたい

2018年CD作成
英訳2020年

「水俣・胎児との約束」英訳

水俣病を世界へ
プロジェクト

ワシントン・東京・水俣・熊本
WEB会議　2023～2025年

MINAMATA

PROMISE TO THE UNBORN



Recommendation by Kamito Keiko, President of Japan Rachel Carson Society

Rachel Carson, the author of *Silent Spring*, said that we are under the spell of chemical substances from the moment that we are conceived in the mother's womb.

It is congenital Minamata disease that is the result of that spell.

This book is a documentary of the acts of a female physician, who has kept watching

the children who could not be born,

the mothers who carry the sorrow and chagrin of loss of their children and

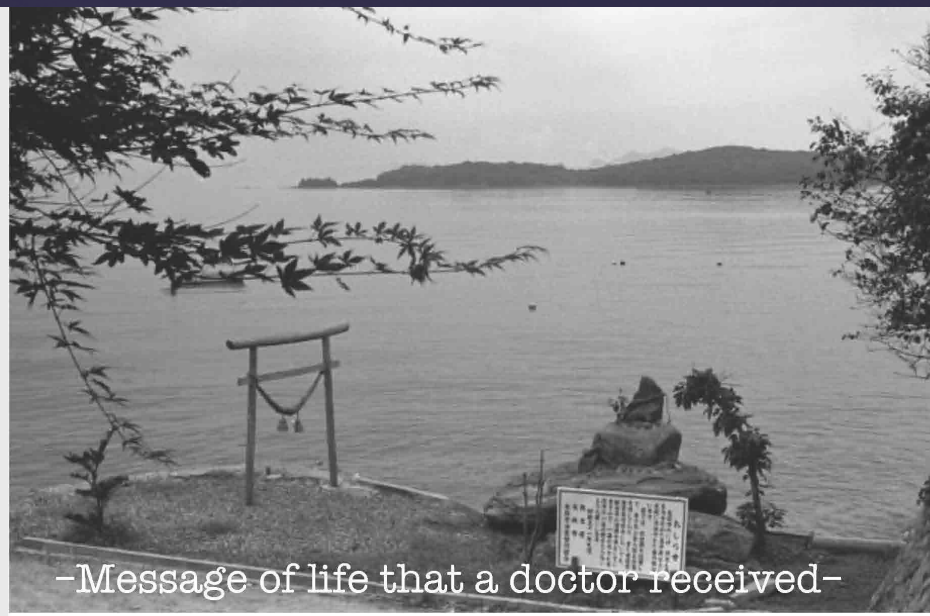
the patients with Minamata disease who live with the sufferings from so many disabilities.

We must receive the message of life from these lives.

US$13.95 / JPN¥1,200 +Tax

© Project Team Handing on Minamata to the World

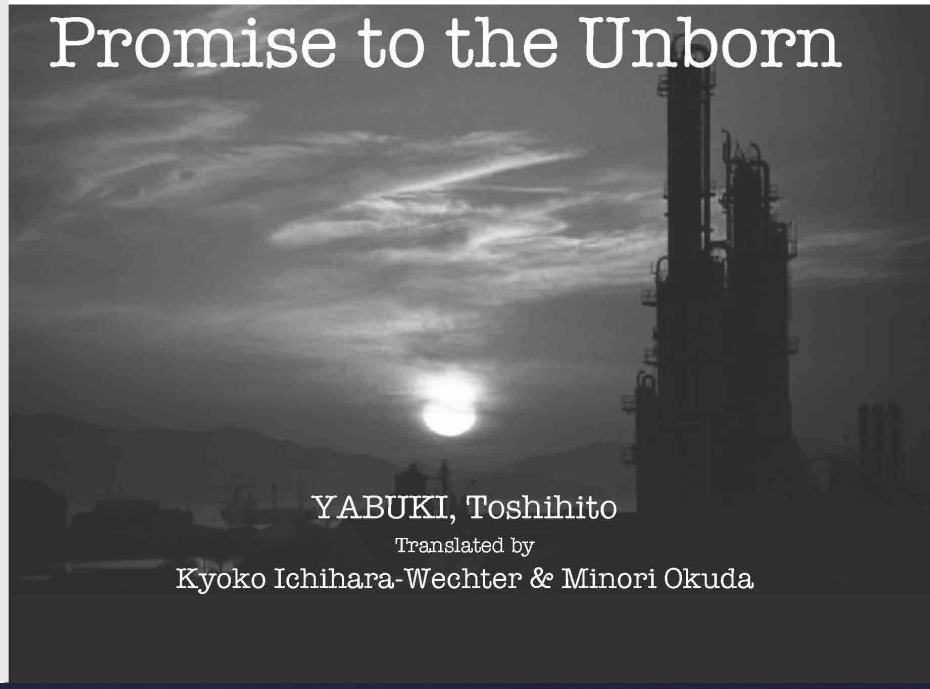
MINAMATA 水俣 PROMISE TO THE UNBORN By YABUKI TOSHIHITO



-Message of life that a doctor received-

MINAMATA

Promise to the Unborn



YABUKI, Toshihito

Translated by

Kyoko Ichihara-Wechter & Minori Okuda

第二の視点

解決と教訓

胎児の犠牲と
水俣病の発生を
防ぐことはできなかったか？

水俣病から
教訓を導き出し尽くしている
だろうか？

1956年：水俣病公式確認

1959年：

10月ネコ実験で原因は工場排水

11月「食品衛生調査会」

有機水銀中毒説を報告

この時点で、

有機水銀の排水規制をしていれば

水俣病の拡大は止み

生まれえなかった命は救えた

ある胎児性患者のことば

福島の処理水を海に放出抗議
訴えたスタンディングで
「もしあの時チッソが排水を止めていたら僕はこんな体には生まれなかった」
だから、将来健康に害をもたらす
汚染水を海に流してほしくないんです

しかし　厚生省は

「食品衛生調査会」を解散させ
メチル水銀中毒説を認めず

原因究明と称して
「水俣病総合調査協議会」発足させ
水俣病の原因をあいまいにした

1959年時点で規制を行えば
①チッソへの損害補償

②患者の健康被害の拡大を防止できた

そうしていればその後の水俣病対策費用の100分1の費用で済んだ
（地球環境経済研究会1991年）



政府とチッソの方針

国策（第二次石油化計画）

1959年以降も1968年までアセトアルデドは増産され不知火海へのメチル水銀の排水が続き
胎児・子供・大人の健康被害は拡大していった。

世界のメチル水銀文献を探し当てた二人との出会い

①浅岡美恵弁護士

第三次水俣病訴訟東京弁護団

②入口紀人熊大名誉教授

①ミナマタの前の「水俣病」

弁護士：浅岡美恵
（浅岡法律事務所）

文献調査1987年

熊本県精神病院協会誌

1930年：ドイツのアセトアルデヒド工場における有機水銀中毒症報告

1932年：チッソ・アセトアルデヒド生産開始。この時点で有機水銀生成を知っていた

1940年：イギリス種子消毒工場Hunterらの報告（重症例）

一次訴訟（1973判決）
チッソは
「イギリスのHR症候群が報告されたのは1940年だったので1932年には知らなかった」
無機水銀を使用しているので
「有機水銀説は当たらない」
と証言した。

三次訴訟（東京法廷）

チッソは
弁護団に
熊本地裁での証言の欺瞞を指摘され
撤回した

チッソ自らは広報せず報道もなく
この事実はあまり知られていない

②
日本人は有機水銀中毒をいつ知りえたのか？

熊本大学名誉教授　入口紀男

（2014年No1174月刊保団連より）

1865年英国メチル水銀中毒死
（1927年までに国内に伝わった・1932年熊大図書館収載）
1922年国内有機水銀副生周知
1932年窒素アセトアルデヒド製造
1937年英国種子工場中毒症
（いわゆるハンターR症候群）
1956年水俣病公式確認
1959年熊大有機水銀説

水俣病の教訓とは（私見）

いのちを犠牲にした企業活動はあってはいけない
国と企業の責任において企業活動と地域活性・健康保持を両立させる
引き起こした健康被害・環境破壊の実態を明らかにし責任をもって保障し回復する

このことが社会的に
あいまいにされているかぎり
水俣病は解決しない

水俣病の**診断基準**は1987年以降変わらず
実効ある**健康調査は**されず
公式確認70年後も**救済裁判**が続いている

あいまいなままでは
終わらせない

宮本憲一氏：
被害者救済のための3要

①被害当事者のたたかい
②専門家の支援
③世論を喚起する支援組織

今問題になっている
PFASでも
同じことが起きると
断言できる

第三の視点

水俣協立病院50周年記念誌
座談会にて
（2025年10月18日）

希望　1

水俣を全国や世界から
見学者が訪れる
在宅医療・地域介護の
メッカに

（2024年全日本民医連
看護介護研究集会講演にて）

希望　2

水俣出身者は水俣をふるさとと
言えなかった。
そのPTSDに向き合い
いやしあえる地域に。

（2025年水俣八幡宮祢宜さんのことばに
見出した）

